郷の集い

発行
新郷校愛護会文芸部
編集責任者
高戸　薫
印刷所
久野印刷所

御挨拶

会長　森川俊徳

この度はからずも皆様の御推薦を得まして本校PTAの御世話をする事に相成りました事は私の最も光栄に存ずるところであります。すべての点で至らぬ者である上に教育の事につきましては何らの知識もなくまたPTAの運営につきましては尚さら識見など持ち合せない私であります。これからは、会員各位の御指導御鞭撻におすがりして人任を全うしたいと思っておりますので何分よろしく御願い申上げます。

本校PTAは先輩各位の努力により他校のPTAに見られない立派な組織に築き上げられ公の事業の面でも飛躍的な発展を来たしたのであります。バトンを受けついだ私は責任の重大さを思いただ誠心これにあたる決心もいたした次第であります。

申すまでもなく子供の教育は学校と家庭、先生と父兄の密接な連絡が必要であります。父兄は常に学校教育に大きな関心をよせ進んで先生方と子供の教育について相談し合い、そして表裏一体車の両端の役目をはたしつつ子供のために最善のものだと考えます。

PTAの活動と申しますとややもすれば本筋からはなれ、きびしい批判や非難的となる例が他に見られる様であります。活動資金の獲得ももちろん仕事として重要なものであります。しかしながら、私はそれにもまして会員相互が学校を中心としてしっかり結びつき、子供のために最も適した教育環境を提供するこれがPTAの一番大事な仕事ではないかと考えている次第であります。思いつくまま二事申し上げまして私の就任の御挨拶と致します。

御挨拶

副会長　高戸　薫

此の度伝統ある新郷校愛護会の役員の一席をけがす事に相成りましたが何分共浅学菲才なる身でありますれば会員各位の絶大なる御支援と御指導をたまわります様伏してお願い致しますと共に、私と致しましても引受け致しました以上最後迄職務に撤する覚悟でありますと故重ねて御協力の程受たまわります様、尚学校側、父兄側、学童側、一体となっての運営に最善をつくす事をお誓いする次第であります。さて二年幼稚園教育が始まって以来何年か経過致しましたが会員各位共非常に此れが運営結果については良い成果が得られているとの御批評が多々ありますので此れらの運営に付いても学校側の御協力を最初にお願い致し今後益々発展する事を紙上より皆々様と共にお祈り致す次第であります。共かく学校入園当初の非常に教育のむつかしい時にお世話をお願い致し二ケ年たって晴れて一年生に入学する時の児童の顔を天々見つめる時、此れが成果の最大限の効果が得られたと意を新たにするものであります。其の他愛護会運営については会員皆々様と共に益々これが発展的運営を得られます様、改めて意を新にする覚悟であります。

御挨拶

副会長　小西洋子

昭和四十三年度の、本校愛護会の役員改選にあたり、はからずも、昨年度母親学級のお世話をする立場から再び副会長の大役をお引き受けする事になりました。微力な私にとりまして大変不安なのでございますが、会長さん始め皆々様会員の御協力を学校と家庭のかけ橋の為に、少しでもお役に立てればと、念じて居りますので、よろしくお願い申し上げます。

最近日増に高まって参って居ります、交通戦争の惨事より、子供達を守る為の交通信号が、昨年度完成され、本年度は引き続いて歩道工事が進められて居りますことは、登校下校時に於ける私達の心配を少しでも解消させてくれるのに役立つ事と存じますが、学校内外の環境改善整美は子供達の健全な勉学を伸ばすためにも、愛護会活動にとって、特に重要な仕事でございます。特に本年は輝かしい福井国体の年でもあり、皆様と共に、一層の努力を致し度いと存じます。

父親学級々長　小島昭夫

此の度不尚私者が伝統ある新郷PTA父親学級々長、又補導委員長と言う重責を汚し甚だ光栄に存ずる次第で御座居ますが我が身を顧みる時其の器でない事を恥る次第で御座居ます何分にも無智な私では御座居ますが宜敷しく御指導承ります様心から御願い申上げます。

父親学級からの御願い

毎日〳〵の仕事で休む暇のない私達父親、子供の家庭教育等忘れがちに成り母親に任せさりが現代の姿ではないでしょうか私達今一度反省しなければならないと思います。子供達は日一日と成長致して居ります。私達父親として子供を育てる責任を感じ子供の良き理解者となる為子供の勉強を良く観察し供々勉強しなければならないと思ます。斯様な意味で今年も父親学級を開催致したいと思います。

其の節は父親全員御参加承ります様御願い申上げる次第で御座居ます補導委員会からの御願い先達て補導委員会の腕白児童達もどうやら学校生活になれて来たらしく、ぎこちなさがとれて、のびゝ〳〵として来たように見受けられます。

口を開けば、明治百年、福井国体、と云いますが、まだ〳〵その盛り上りがなく、実感としてピント来ません。もうあと一〇〇日足らず……国体そのものを云々するのでありませんが、国体を一つの契機として、スポーツに理解と親しく観察し供々勉強しなければならないと思ます。斯様な意味で今年も父親学級を開催致したいと思います。

其の節は父親全員御参加承ります様御願い申上げる次第で御座居ます補導委員会からの御願い先達て補導委員会の腕白児童達もどうやら学校生活になれて来たらしく、ぎこちなさがとれて、のびゝ〳〵として来たように見受けられます。

口を開けば、明治百年、福井国体、と云いますが、まだ〳〵その盛り上りがなく、実感としてピント来ません。もうあと一〇〇日足らず……国体そのものを云々するのでありませんが、国体を一つの契機として、スポーツに理解と親しく観察し供々勉強しなければならないと思ます。斯様な意味で今年も父親学級を開催致したいと思います。

其の節は父親全員御参加承ります様御願い申上げる次第で御座居ます補導委員会からの御願い先達て補導委員会の腕白児童達もどうやら学校生活になれて来たらしく、ぎこちなさがとれて、のびゝ〳〵として来たように見受けられます。

口を開けば、明治百年、福井国体、と云いますが、まだ〳〵その盛り上りがなく、実感としてピント来ません。もうあと一〇〇日足らず……国体そのものを云々するのでありませんが、国体を一つの契機として、スポーツに理解と親しく観察し供々勉強しなければならないと思ます。斯様な意味で今年も父親学級を開催致したいと思います。

以上三点を補導目標として一年間勉めたいと思います子供を明るく正しく育てる為皆様達一人〳〵の暖い御協力を御願い申上げます。

母親学級長　白崎幸子

戦後二十何年かの歳月の中で、新しい教育にとぼまってきた母親の一人です。PTAが学校教育の中で果してきた役割は、それなりに評価しなければなりません。しかし、単なる乏しい教育財政の肩をかついできた面も見逃す事のできない点かとも考えます。

新しい世代の物の考え方と父母のそれとの断層を埋めるものを、私共は今だに探り続けております。言って見れば自信の喪失です。特に母親として子供達の物の考え方をどう受けとめてよいかと、日常のわずらわしさの中でつい素通りして真剣に考えることのできない一人です。そうした私が思いがけない大役をおおせつかって今更の様にとまどって、これから皆さんと一緒にどうしてやって行けるかとそれのみを案じています。ただ子供を持つ母親の一人として、せめて子供達の成長の心の糧となるような何かを一生懸命皆さんと考えながら新めさせていただきたいと念じております。

所詮は至らぬ事のみと思いますが皆様のお力添えと御指導により、新めさせて頂きたいと思いつづけております。

雑感

学校長

新学年を迎えてもう早や二ヵ月半、新しく入って幼稚園の年少組の子も、一年の腕白児童達もどうやら学校生活になれて来たらしく、ぎこちなさがとれて、のびゝ〳〵として来たように見受けられます。

口を開けば、明治百年、福井国体、と云いますが、まだ〳〵その盛り上りがなく、実感としてピント来ません。もうあと一〇〇日足らず……国体そのものを云々するのでありませんが、国体を一つの契機として、スポーツに理解と親しみをもち、自分自身を鍛え、すべての活動の源泉となる体位・体力の増強を図りそれを完全有効に支配するための判断力を練り、正しいと信じたことは「千万人といえども我行かん」の断固たる意志・根性を養い、見知らぬ人々とも、親切に交わりの出来る人間味豊かな（1. 満ち溢れる健康。2. すぐれた知能。3. 豊かな情操。4. 円満な人間関係。）人に育てあげたいと念じています。

何卒御協力をお願い申し上げます。

新任の先生

教頭　鹿野巧

子らと共に

本校に着任して驚いたことは、校庭の体育や遊具の施設が完備され、照明施設の少ない割に校舎が明かるく、如何にも清潔そのものであることである。しかも日がたつにつれてこの明かるくて清潔な校舎の中で懸命に学習に取り組んでいる児童と職員の意欲的な態度がひしひしと感じられて、学校全体が幸福感に満ちていて毎日を楽しく過すことができて非常に喜んでおります。

こうした学習環境を作り出された陰には、学校をとりまく地域社会の絶大な協力の積み重ねによるもので、この偉業を成しとげられた先達者達の残された伝統を汚さないよう一層の決意のもとに緊張した毎日にいきがいを感じます。しかしながらこうたよい環境に恵まれていて、しかも児童数の少ないところでは安易感を生み出す要因でもあるわけで、ここに本校の教育課題としての、生存競争に打ち克つ積極性と最後までやり遂げる強い意志の持ち主となる根性が培われなければならないと思います。

本校の伝統を側面から築きあげて下さった愛護会の業績や、今後の歩みについては自他共に高く評価されていますので、今更申し述べることもありませんが、時代の進展に応じてより高次なPTAの近代化を一人一人が考え、これを話し合う効率的な機会をより多く持つことによって、益々栄えていくことであろう。

毎日の学校生活を反省しその足らざるを補い少しの足跡も一糸乱さず、子らと共に前進することを自分自身に誓うつもりで、就任の一言葉といたします。

昭和四十三年度本校のめざす子供の人間像

一、健康で明るい子
二、正しい判断の出来る子
三、ねばりの強い子
四、たすけ合う子
五、美しきにあこがれる子

五年担任
岩城重士

この度の異動に際しまして、輝しき伝統と歴史をもつ本校によせていただき、身に余る光栄と深く感謝しています。

もとより、浅学であり、非才でございますが、教育熱に燃ゆる立派な校長先生はじめ諸先生方、並びに、地域ぐるみ一丸となった、愛護会の皆様方の熱意あふれる愛校心の姿に心を励ゲまされ、今後微力ではありますが、日々の学校生活をより効果的に児童達と固く手を取り合い、学習・体育面を通じ「強き体と心」を養うように力一ぱい頑張って行きたいと思います。

なにとぞ皆様方の、厳しいご助言とご協力をお願い致します。

幼稚園菊組担任
浜辺ツタ子

庭の木立にも新芽が若葉にもえ変り、その美しさは目をみはるばかりです。

このたび町の異動で青原幼稚園から、当新郷幼稚園に勤務させていただくことになりました。

青田の中の校舎、きれいに光つた教室、廊下、元気に遊ぶ子供、素直で明るい子供たちと、これから力一ぱい遊べるかと思うと、うれしい気持です。

前任の先生方が築かれました立派な基礎の上に立つてみなさまの御導きを唯一のたよりにし、一生懸命幼児教育にはげんでいきたいと思いますので、よろしく御力添を心からお願い申し上げます。

青葉の季節に思う
小西カズエ

青葉のかげより今日もかつこうの声が聞えてきます。遠い子供の頃を呼び起すようなつかしいかつこうの声です。私達が漸く長い田植えを終えれば早もう濃緑の季節でした。田の面を吹いてくる風の何と清々しい事でしょう。学校のオルゴールがコロン、コロンと緑の風にのつてあたりに響いていきます。「お母さん方これから学校の授業が始りますよ」と、こんな風に私の耳に入つてきます。

長いと思つた私達部落の共同田植えも終え思えば早く又楽しくもありました。農繁期ともなればどこの家庭でも一番心にかかるのは子供の事ではないでしようか。早朝よりまだねむたい盛りの幼児の目をさまさせるのに母も祖母も一苦労です。又高学年ともなればそのまま残して田へ出ていかねばなりません。時間におくれないで学校へ行つただろうか。きちんと食事をすませて行つただろうかと仕事に励みながらも子供の事で一杯です。「私、おひるに家に帰つたらうちの娘さんがのこのこでできてね、びつくりしたわ。」こんなお母さんの言葉に皆大笑いをします。その笑いの中から今日一日何事もなく無事でいてくれますよう祈ております。私達農家の主婦は時代の流れと共にますます多忙を極めていきます。したがつてそのしわよせが子供の上にかかるのは当然のことでしよう。「親になるのは易く、親であることは難し」とだれかが言つたように学校では何もかも先生にお願いしなければなりませんが、子の親としてのつとめは一刻も忘れてはならないと思います。さて当区出身で立志の一人に篠崎登さんと言う人がおられます。氏は今尚東京に住んでおられ、年に二回はふる里に帰つて見えます。ある時、村の年より達が「どうしたらお金を残すことができるのだろうか」と尋ねた所「お金なんか一文も残さなくてもよい。そのかわりよい子供を残しなさい」と言われたと言う事です。何と意義深い言葉ではありませんか。

新郷の若いお母さん方、お互いに多忙な身ではありますが「よい子供」に育てるためもつともつと勉強しようではありませんか。

マスコミと教育
高戸甚右エ門

新聞やテレビを見る度に何かが狂つていると思ふ。マスコミの功罪について論ずる時間はないが先般富山県下を巡回して或る普及所で聞いた話に婦中町の金属カドミウムによるイタイイタイ病が公害病として天下に公表され補償されることになつたのは有難いがマスコミでの騒ぎが大きかつただけに婦中町では娘は嫁せられない。婦中町から嫁はもらえないとの風評は深刻な人権問題に発展しているが、この点について新聞やテレビは知らぬ顔である。又十九才の某少年の悪事や犯罪が大人の目を覆うものがあるが之等もマスコミの影響がないとは云えない。ことで子供の教育についても人間形成のための学校、家庭、社会であるべきが必ずしも一致しているとは云えない様だ。子供は勉強〈〈進学〈〈で追い廻され最も感受性の強い時期を無表情に机にカジリつき、勉強のキライな子供同志が人間的ふれあいを感じても余した時間に悪事を考える様になる。最も大切なことは勉強のキライな子、勉強の出来ない子の教育が忘れられていないかということである。この子等の中に将来大人物になる組質が充分にあるから、この芽を育てて行けば将来の社会発展に大きい貢献があり且つ少年の非行化も防止出来るだろうと一人で考えている。最近度量の大きい人がだん〈〈少くなつて行くのを見て淋しく思うと共にPTA活動で新しいモラルを打立てられたらと考えている。

入園のよろこび
北林靖子

はじめての入園なのでとても心配しましたが、幼稚園生活がはじまつてからは、私の心配もよそに、毎日いやがらず幼稚園へ行つてくれるのでよろこんでいます。今では、家に帰つて来ると一人遊びや、友達の家へ行つて遊ぶようになりました。

この間、こつけいなことに友達の洋服を着て帰つて来てしまいました。そんなことも気にしないで、毎日楽しく幼稚園へ行つているのもみな先生方の良き教えだと思い安心し、又よろこんでいる次第です。

入学 入園 の喜び特集

一年生入学に想う
吉江敏行

私の入学当時は、防空ズキンをかぶり雨の日は素足で登校し、ズツクもはかずに藁ぞうりで学び、又給食もなく、日の丸弁当で質素ながらも勉強に励み、未来の社会作りの作文を書いてもなんとなく明かるく民主的社会作りは国民の一人一人が国の主権者としての責任をもつ能力のある人間になることを強く要求されているのではないでしようか。

民主主義の大道を進むには、まづ教育の徹底をはかることを必要として、社会の健全な発達は個人の人格を完成することだと思います。その意味に於いて義務教育の第一段階である小学教育又、家庭教育の分野のうちで特に重大な意義があると思います。父兄と先生が一致協力して、益々教育の充実拡張を計かるべく強く要求すると共に明かるい日本ら期待して止みません。

なるんだと、書きたてた記憶は新らしく、戦争地震、空襲に襲われながら、不足難のため小さな田畑を耕しサツマイモ等を植え田んぼに行けばイナゴの卵拾い等に余念がなく授業中の半分は、肉体的労力に費して来たと思います。しかしながら終戦後の社会は一変して超特急が走り農家にも自動車が走り生活様式も都会並になつた今日、吾が子も早や一年生になり、民主的社会作りの第一歩を踏み出して呉れるものと一人の父兄として歓喜にたえません。

戦後吾が国も独立日本として再出発することになりまして、何から何まで手にかかる子供達で先生の苦労もひとしおと思います。あまりにきままなので手をやくこともありますが、人のためになるよい子になつてくれることだけをのぞんでいるしだいです。

長男の就学に思う
高辻信洋

この春長男が幼稚園にあがつた。ひなどりが初めて大空へ向つてはばたいたようである。新調の服も帽子も靴も何もかも愛らしいがどうも足もとが幼なくて、ひならば今にも大地に墜落してしまいそうな危かし感じである。

先年長女が入園して時とはまた違つた感慨が心を刻む。喜びも不安も夢も期待も、やはりこの子にかける父親の意気込みはより大きい。私の生命を受け継ぎ成長発展させ、そして良き形質を子孫へ伝える使命をこの子に背負わせるのは親の一人よりだろうか。あとどり息子という考えは時代遅れなのだろうか。いや親子の愛情が、人が、この地上から消滅しない限り、子をわがあとどりとして見る親心は永存するに違いない。今は亡き父からは同じ立場にあつた私だが、人生半ばを過ぎて、かけられた期待、負われた使命にいくばくかを応じ得たであろうか。恥かしい限りだ。

しかしとも角も、めでたく長男を五体満足に入園までこぎつけたのである。肉親の情愛に程よく暖まつた温室から突如寒暖定めなき社会集団の一角へ飛び出して行つたこの子が、新らしい知識を増し骨肉を盛んにし、いくたの困難を切り抜けて、どの程度まで父の期待像を写し出してくれるだろうか。それはどえらく大きく美しくたくましい虚像だが、わが子よ、やつてくれ。と、祈る心の片隅から。

交通事故にも会わず人並について行ければ多くを望めまい。今日の交通地獄を思えば、ひたすらわが子の無事だけが世の親の悲願となつているのだ。この親心は素朴な、生物に本質的な慈愛の眼を持つている。今後この子はある時はこの慈眼に見守られて心地よげに、ある時は拡大鏡でつつ一杯引き伸ばされながら成長をたどつて行くだろうが、いづれにしてもこれからのわが半生はこの子の心身の栄養源となり命の楯となつてやらねばなるまい。

わが人生はまだまだ捨てたものではない。夢も花咲き意義はますます深くなる。わが子よ、父はがんばるぞ。これからの半生はすべてお前のものだ。